



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年1月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第364号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「職業講話会」

我孫子第一小学校の5年生で、Abi-キャリアの一環として職業人講話「プロフェッショナルに聞こう」の学習がありました。実行委員を中心に、「講師の先生からお話を聞いて、将来について考えましょう」と目標が掲げられてスタートしました。

講師の先生は、我孫子市在住で、世界7大陸の最高峰の山々で山岳ガイドをされており、たくさんの写真や動画で仕事の紹介をしてくれました。「仕事をしていて良かったと思うときは、お客さんを頂上まで案内できたとき」や「大変だったのは、ロシアの山で遭難し、27時間飲まず食わずでお客さんが死を覚悟したこと」などの話がありました。登山仲間が滑落し、目の前で亡くなる姿を見てきたことや、自身もアイスクライミングで50m落ち、足首を粉碎骨折したことなど、大変危険な仕事に子ども達は目を丸くして驚いていました。それでも仕事を愛し、今年も楽しくエベレスト登頂した話があり、働くことの魅力をたくさん伝えてくださいました。

この会を通して、子ども達は命を懸けた仕事があることや、お客さんのために一生懸命職務を遂行することの大切さを学ぶことができました。人生の先輩から将来について考える時間となりました。



Abi-キャリア「TWICE PLAN 企業インターンワーク」

湖北台中学校の2年生がキャリア学習として、総合的な学習の時間に「TWICE PLAN 企業インターンワーク」の授業を行いました。TWICE RESEARCH INSTITUTE さんの協力をいただき、ローソン、シチズン時計、KDDI、江崎グリコ、明治の5社から課題を受け取り、その内容を達成する企画をチームで考えます。

「地球環境貢献イベントを考える」や「時間の価値観についてのPR動画を考える」など難しい課題に頭を悩ませていましたが、チームの仲間と解決方法やこれからの計画を真剣に考える姿がありました。どの生徒も生き生きとした様子で取り組んでおり、この総合的な学習の時間が彼等にとって充実したものであるということが伝わってきました。

生徒自身の体験や経験から、地元のまつりを生かしたイベントを考えるなど、生活に照らし合わせながら企画を考える姿が印象的でした。1人1台端末を使い学級だけでなく全校にアンケートを取りたいなど、課題解決に向け、学びがどんどん深まっていく様子もみられました。

冬休みに向けての計画を立て、それぞれの役割を設定し授業が終わりました。今後、それぞれの趣向を凝らして画期的な企画が出てくることを期待しています。企画の発表会にも参加したいと思わせる授業でした。

